

法人（事業所）理念	【社会福祉法人 光に会】 地域の方々、ご利用者、一緒に働く仲間たちへ……。ここで出逢えたあなたのために、私たちは今日のしあわせを明日へつなぐ。								
事業所の思い	【デイジーくらぶ】 一人ひとりにいちばんを。								
支援方針	<p>(1) 地域で安心した生活を送ることができるように支援します。</p> <p>(2) 「一人ひとりにいちばんを」をモットーに、個別支援計画に基づいて支援します。</p> <p>(3) 利用者本位のサービス提供に向けて、関係機関や他事業所との連携に努めます。</p> <p>(4) 地域との交流、インクルーシブの発展を進めていきます。</p>								
営業時間	8時	30分	から	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり	(下校時の各学校へのお迎えを実施します)	
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活 <i>Enjoy</i>	<p>いろいろなことに挑戦し、楽しみながら感性を伸ばし、運動性や動作性を高めていきます。</p> <p>食事、排泄、清潔を保つなど、基本的な生活習慣が身につくように支援します。</p> <p>利用開始時の検温、身体や顔の表情などの観察を行います。</p> <p>体調に変化がある場合は、保護者に連絡し、場合によっては医療機関への搬送等を行います。</p>							
	運動・感覚 <i>Play</i>	<p>運動やレクリエーションに取り組み、集団性や協調性を高めていきます。</p> <p>身体を動かす運動や製作や工作など、手先を使う運動を通して、いろいろな体験ができるように環境を整え、支援します。</p> <p>姿勢保持や各種の運動・動作が困難な場合は補助用具を活用し、工夫しながら支援します。</p> <p>聴覚や視覚において過敏や鈍麻がある特性を考慮し、環境調整などの支援を行い、コミュニケーションを図ります。</p>							
	認知・行動 <i>Challenge</i>	<p>目的意識を持った活動に取り組み、基本的なスキルの獲得と社会適応力の向上を目指します。</p> <p>個々の感覚や認知の特性からくる困難さや生きづらさを理解し、適切な対応を考え、支援します。</p> <p>タイムタイマーを使用して、活動の切り替えを視覚と聴覚に促します。</p> <p>当日の日付、曜日、スケジュールを視覚的にわかるように掲示し、見通しを立て行動につなげていきます。</p>							
	言語 コミュニケーション <i>Contact</i>	<p>言葉を大切にしながら、コミュニケーションボードやカードの活用、ジェスチャーなど、一人ひとりにあった方法を考え、支援します。</p> <p>挨拶や簡単な会話など、コミュニケーションをとることができるように支援します。</p> <p>友だちとの会話の中で、暴言等の不適切な発言がある場合には職員は間に入り、適切な言葉を選びながら、気持ちを伝え合うことができるように支援します。</p>							
	人間関係 社会性 <i>Together</i>	<p>話し合いや活動の確認をしながら、考え、役割を持ち、行動できるように支援します。</p> <p>児発も含めた異年齢集団での取り組みを行い、互いに思いやる気持ちを育てます。</p> <p>園外活動や地域の社会資源への見学を通して、ルールやマナーを習得します。</p> <p>法人内の特別養護老人ホームの利用者の方と行事での交流や生活介護の利用者との協同活動を通して、優しい心を育てていきます。</p>							
家族支援	連絡帳や送迎時のやりとりを大切に、こどもたちの様子や気づきを保護者と伝え合います。			移行支援		ライフステージの切り替えを見据えた、学校との連携を行います。			
地域支援・地域連携	相談支援事業所との連携をすすめます。他事業所との情報の共有化を行います。社会福祉法人光に会として、光市社会福祉法人公益活動推進協議会へ参加し、多分野での協働活動を行い、地域課題に取り組みます。			職員の質の向上		外部研修に積極的に参加し、法人全体の内部研修に取り組みます。事業所内で、①権利擁護、②発達・障害、③リスクマネジメントの3分野で課題を見つけ、プログラムを設定し、取り組みます。			
主な行事等	<p>【園外活動】 公園で遊ぼう・買い物体験・一日おでかけ企画</p> <p>【レクリエーション】 プール遊び・クッキング・ビンゴゲーム</p> <p>【交流行事】 七夕交流・夏祭り・敬老会プレゼント贈り・ハロウィン交流・クリスマス会・もちつき・年賀状お渡し・節分</p>								